

介護の現場で働く皆さんを応援します！

本県では、2025年度に必要とされる介護職員は約32,000人で、2012年度と比べ約7,000人が新たに必要になると見込んでいます。

このため県は、「介護職場への参入促進」、「職員の資質向上」、「働く職場の環境改善」の3つの観点から、介護人材の育成・確保に取り組んでいます。

介護職場への参入促進

- 介護の仕事の魅力をアピールし、イメージアップに取り組んでいます。
- 事業所とのマッチングを行い、求職者の希望に沿った就職を支援しています。
- 中・高校生や保護者の方々に介護の現場を知ってもらうため、講座や職場体験ツアーを行っています。
- 介護福祉士を目指す養成施設の学生に修学資金を貸し付けています。(※1)
貸付額：学費5万円以内など(返済免除有り)
※平成29年度入学予定者は今後募集予定

職員の資質向上

- 介護に関するスキルアップ研修や研修受講料の補助などにより、介護人材の育成を支援します。(※2)
介護職員初任者研修受講料の2/3補助(上限額66,000円)

働く職場の環境改善

- 経営改善に関する説明会の開催やアドバイザーの派遣により、介護事業所等が行う処遇改善や労働環境の改善を支援します。(※3)

福祉・介護の就職合同面談会(※4)

- とき／12月18日(日) 13時～
- ところ／長崎県総合福祉センター(長崎市茂里町)

有資格者の再就職のための研修会(※4)

- とき／12月10日(土) 10時～
- ところ／ニチイ学館長崎支店研修室(長崎市銅座町)

- 問合せ ※1,2,4 県社会福祉協議会 福祉人材研修センター ☎095-846-8656
- ※3 長崎県介護福祉士会 ☎095-842-1237



「利用者さんと話す時間をたくさん持つことが大事ですね」と辻さん(写真左)

介護の現場でいきいきと働く

県内では、約25,000人(2012年現在)の介護職員の方が働いています。地域に寄り添い、地域とのつながりを大切にしている西海市のグループホーム「ふるさと」で働く辻純子さんは、介護支援専門員(ケアマネジャー)として、利用者の介助をはじめ、介護ケアプランの管理や入所相談を行っています。

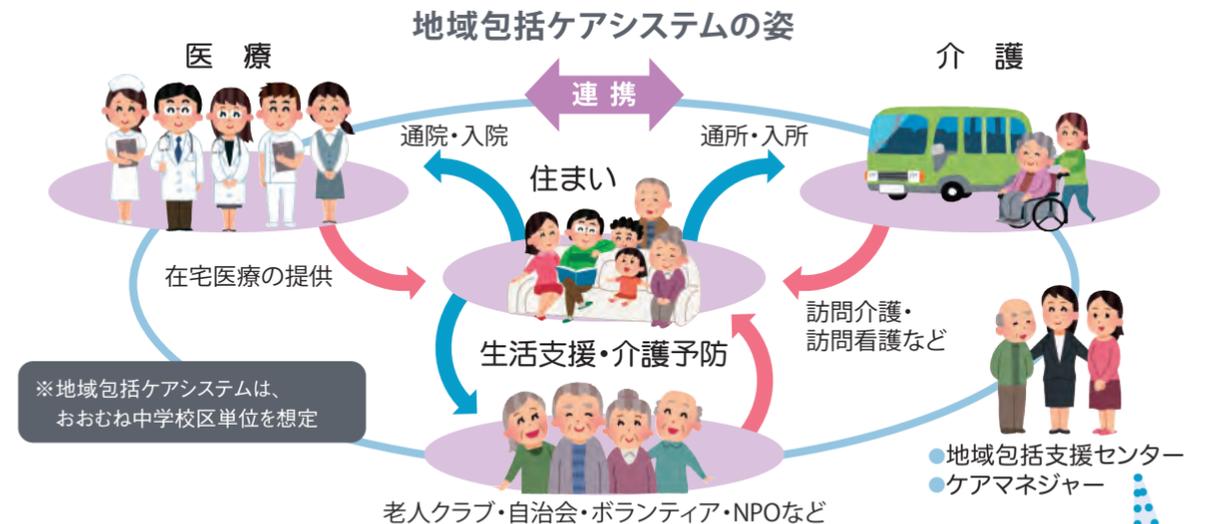
「やはり介護の仕事は大変な面もありますが、利用者の方から『ありがとう』いってくれると安心する」と言ってもらえると、心が豊かになるんですよ」と笑顔で教えてくださいました。

職場の雰囲気は家庭的で相談しやすく、業務のフォローアップ体制も整っているそうです。「今後は、認知症に関する知識や経験をさらに積み重ねて、より丁寧で適切な対応をしていきたいです」。

医療と介護の連携による地域での支えあい～地域包括ケアシステムの構築～

県では、医療と介護が連携し、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療・介護・住まいなどが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を整備しています。

このシステムは、「医療が必要になったら医療」、「介護が必要になったら介護」、「また元気になったら自宅」と、その人の希望に沿った生活が実現できるしくみです。



地域包括支援センター

高齢者やその家族の総合相談窓口として、各地域に設置されていて、保健師やケアマネジャー、社会福祉士が、介護をはじめとするさまざまな分野の相談にワンストップで対応します。

また、高齢者が自立して生活できるように、健康づくりや介護予防のお手伝いもしています。

わからないことや悩みごとがあったら、お気軽にお住まいの市町のセンターにご相談ください!

具体的な取組

県では、2025年までに県内21市町全ての地域で、地域包括ケアシステムが実現できるよう、市町とともに取り組んでいます。

介護サービスの整備

- 「小規模多機能型居宅介護」や「24時間対応訪問」など、介護を必要とする高齢者やその家族の希望に応じることができるよう、各地域の実情に合わせた質の高い介護サービスを提供する施設などの整備を進めます。

※施設への「通い」を中心に利用しながら、短期の「宿泊」や自宅への「訪問」を組み合わせる介護のこと

認知症支援の推進

- 認知症になっても地域で安心していきいきと暮らし続けられるよう、早期診断・治療が行われる医療体制を整備するとともに介護サービスを充実します。
- 地域での支えあいを進めるため、認知症サポーターの養成や相談支援体制を強化します。



生活支援体制の整備

- 今後、高齢者世帯が増え、買い物や電球の取替などちょっとした困り事が増えてくることが予想されるため、元気な高齢者をはじめとした住民主体の活動などにより、さまざまな生活支援サービスを提供する体制をつくっていきます。

